

特別展 没後50年

# 北大路魯山人

美と食の巨人が挑んだ世界



1



持味と生かせ

2

「美と食の巨人」とよばれた北大路魯山人(1883-1959)。その類い希なる審美眼により、多彩な分野に足跡を残しました。魯山人は日本各地のつくり手と交流を重ね、自らの芸術の世界を広げていったことが知られていますが、書家として活躍した30歳の頃には、滋賀県の長浜の実業家らとの親交がありました。

広い人脈を持った一方で、魯山人の破天荒にして居丈高(いたけだか)な言動は、傲慢な人物評をも残し、作品が正当に評価されてこなかった点もあります。しかし徹底して美にこだわった、その個性的な生き様と彼が遺した作品は、今なお多くの人々を魅了し続けています。特に近年では、毎年何処かの会場で「北大路魯山人展」が開催されるなど、その人気の高さがうかがえます。

没後50年を期に開催される本展では、魯山人の芸術活動の出発点となる書や篆刻をはじめ、絵画、漆芸、そして彼が最も力を注いだ陶芸作品など約230点をご覧ください。また魯山人が顧問兼料理長をつとめた会員制高級料亭「星岡茶寮」で実際に使われていた器や調度品を特集展示いたします。魯山人の世界観を堪能していただけることでしょう。



6



7



3



4

- ①「染付福字皿・鎌倉彫額」 昭和14(1939)年
- ②書「持味を生かせ」 昭和30-34(1955-59)年
- ③「色絵牡丹文鉢」 昭和10年代(1935-44)
- ④漆芸「一閑張日月椀」 昭和10年代(1935-44)
- ⑤「鳥かすみ網文扇面鉢」 昭和10(1935)年頃
- ⑥絵画「武蔵野富士図」 昭和13(1938)年
- ⑦瀟額「同風軒」 大正2(1913)年
- ⑧「染付辰砂葡萄文紅茶碗・黄瀬戸皿」 昭和15(1940)年・25(1950)年頃
- ⑨「信楽灰被壺」 昭和31(1956)年



8



9

【会期中の関連イベント】 ※参加方法や詳細は陶芸の森へお問合せ下さい

① **ギャラリー・トーク**  
(学芸員による展示解説)  
10月4日(日) 11月22日(日)  
各日とも午後1時30分から(1時間程度)

② **一般向け体験講座Ⅰ** 定員20名  
「魯山人風・信楽花入をつくる」(穴窯講座)  
9月27日(日)  
講師: 神山直彦氏(日本工芸会正会員)

③ **一般向け体験講座Ⅱ** 定員35名  
(技法別講座3 上級付)  
「魯山人風・椿文鉢に挑む」  
11月8日(日)  
講師: 鈴木茂至氏(甲賀市指定無形文化財保持者)

④ **子ども向け体験講座Ⅰ** 定員60名  
「気分は巨匠・魯山人!ごちそうの日はし置きを作ろう!」  
10月31日(土)  
講師: 津守愛香氏(陶芸家)

⑤ **子ども向け体験講座Ⅱ** 定員20名  
「プロの陶芸家の仕事場を訪ねてⅡ...器を作ろう!」  
11月29日(日)  
講師: 澤 鳳山親子(陶芸家)

【次回展覧会のお知らせ】  
**特別展「ハンス・コパー 20世紀陶芸の革新」**  
平成22年3月13日(土)~6月17日(木)  
12月14日(月)~平成22年3月12日(金)は陶芸館のみ冬期休館いたします



滋賀県立陶芸の森 陶芸館

〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨 2188-7  
TEL.0748-83-0909 FAX.0748-83-1193  
ホームページ <http://www.sccp.jp/>  
携帯サイト <http://www.sccp.jp/i/>

アクセス  
(公共交通) ●JR石山駅より帝産湖南交通バス(陶芸の森前下車) 約60分  
●JR草津駅より草津線乗り換え(貴生川駅下車)、貴生川駅より信楽高原線乗り換え(信楽駅下車)、信楽駅より徒歩20分 約75分  
●信楽高原線-信楽駅より信楽高原バス(陶芸館前下車) 約8分  
(自動車) ●新名神高速道路 信楽ICから約8分  
(駐車場) ●普通車/約250台 大型バス/約10台

